

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	11 05 04	中期総合計画主要施策番号	3-08	担当課	部・課	建設部 河川課	
事業名	県単河川改修事業(県単【河川】)			内線	3439		
				E-mail	kasen@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	県民の生命・財産を水害から守るため、護岸築堤等の河川改修を環境や景観に配慮して実施し、良好な河川空間の形成を図る。					
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]					
		・近年の局地的な集中豪雨で、災害に対し脆弱部が増加している。 ・都市部において資産集積が進んでいるため、洪水による被害額は近年増加している。					
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]					
	・近年の集中豪雨による浸水被害等により、地域住民から治水に対する要望が高まっている。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・県民の生命・財産を水害から守るため、再度災害防止、市街地での甚大な被害の恐れがある河川の整備など主要施策に基づき護岸整備、築堤等を行う必要がある。						
事業内容	国庫補助事業の採択基準に適合しない小規模な事業 ・災害から県民の生命及び財産を守るための河川の整備 ・都市化の進展に対応した治水対策 ・地域の生活基盤整備のための治水対策 ・自然豊かな水辺環境の確保 ・高速道路建設と一体的に行う河川工事						
実施期間	M29 ~	根拠法令等	河川法第9条				
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価	
	県民の生命・財産を水害から守るため、護岸築堤等の河川整備の推進を図る。 (目標:H24 河川整備率 38.2%) (目標:H24 DID内整備率 52.0%)	平成20年度の河川整備率を平成19年度末の37.7%より0.1%増加の37.8%を目指す。また、DID内整備率を47.4%より1.4%増加の48.8%を目指す。		河川整備率(要改修区間延長のうちの改修した河川延長の割合)を37.8%に増加させた。 また、DID内整備率は、48.2%に増加した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)	千円	1,478,292	1,781,670	1,247,708	国庫・県単 県単	
	決 算 額 (B)	千円	1,515,621	1,479,335		実施方法 直接、委託	
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	730,047	844,459	557,062	歳出節別 予算現額(最終予算額+繰越額等) 1,781,670	
	概 算 人件費	従事する職員数 人	15.80	15.20	15.20	内訳等	
	概算事業費 (B(H21はA)+C)	千円	1,515,621	1,479,335	1,247,708	(単位: 千円) 1箇所当たり平均工事期間 5年	
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	事業実施箇所数	箇所	79	76	76		
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明					
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・事業の対象となる河川は、河川法により県が整備、管理を行うこととなっている。 ・事業効果の早期発現の為に、重点化、コスト縮減等効率性に努めている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	課題の総括	・河川沿いの住民の生活と密接な関係があるため、地域からの治水に対する強い要望がある。このため、箇所毎に事業内容を精査する中で、効果的な投資に努める。					